

医療的ケア支援委員会

部会長 丸山敏枝 副部会長 西巻靖和 金井祐樹
運営委員会担当者 小池昌代 ケアマネ連絡会担当者 小池昌代 本藤雅奈美
長野市障害福祉課担当者 今井さとみ

1 年間テーマ

看護師研修 WG 地域資源マップ WG

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
7	10	にじいろキッズらいふ	17	今年度執行部体制と活動 予定	亀井智泉さんのお話(医ケアってなあに？ 医ケア児ってなあに？ 活動内容検討、参加者との情報交換
11	20	にじいろキッズらいふ	14	WG 進捗状況	医ケア児の移送 WG 報告 看護師研修 WG・資源マップ WG に分かれて その他情報交換
12	7	Zoom 開催	18	感染防止対策研修	災害避難時の感染防止対策について
2	22	にじいろキッズらいふ	10	今年度を振り返って 来年度活動予定	令和4年度から始まった医ケア児の 退院時の在宅への流れ～現状報告

上記の他、執行部会を 6 回開催

令和5年度 事業報告

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- ・こども部会と連携して「情報ツアー」更新(医ケア児の受け入れ施設一覧表と事業所マップ掲載)
- ・施設間看護師研修のため、医ケア児の預かり状況アンケート実施し、研修に行きたい事業所を調整した
- ・施設職員対象の感染防止対策研修会開催(令和5年12月7日(木)18:00~19:00
災害避難時の感染防止対策について 講師:丸石製薬 尾土平整 氏
参集研修を計画していたがインフルエンザ感染が増えていた時期であったため ZOOM 開催に切り替えた 18名参加

4 課題について

(1)主な検討課題

- ・地域資源マップ WG
昨年度作成した、医ケア児を受け入れている施設の情報一覧、地域マップの更新。
- ・看護師研修 WG
令和3年度から実施されている施設間看護師研修を今年度も計画、実施した。
コロナ禍においては実施が困難であったが今年は実施できた(現在も実施中)

(2)検討の目的と結果(現状)

- ・地域資源マップについては昨年度の更新作業であったが、掲載された「情報ツアーを見た保護者からは「こういう情報ありがたい」との声をいただいているとのこと。(保健所などで)
- ・医ケア児受け入れのある施設でどのような医ケア児を受け入れているか、研修は可能かアンケートを実施し、希望の施設にて研修実施中。医療ケアの実際について情報交換や手技の確認、お預かり中の関わり方など互いに学びあっている。

(3)引き続き検討が必要とされる課題

- ・長野市版医療的ケア児支援推進会議の開催
令和4年度振り返りでも課題として挙げられていたが、今年度も実施されなかった。準備会の発足を含め検討していきたい。
- ・施設間看護師研修は引き続き実施したいが、医ケア児受け入れ施設が限られているため、マンネリ化も否めない。しかし新しいスタッフが入ったときに他の施設を見せていただくことは勉強になるので続けていきたい。緊急時の対応についての研修もあると良い。研修だけでなく、看護師同士の情報交換の場(ざっくばらんに話せる場)も必要と感じる。

令和5年度 事業報告

(4)部会の運営体制について

令和5年度は執行部の人数を限って運営した。人数を減らしたことで大きな支障はなかったが、委員長は執行部を経験したことがないまま委員長を拝命したので運営はスムーズではなかったと思われる。

5 総括(1年間を振り返って)

令和5年度は5月8日より新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけが5類に移行した。しかし、わずかな体調変化でも大きく体調を崩すことの多い医ケア児を預かる施設にとって負担は変わらないと思われた。引き続き様々な感染症に留意しながら運営を続ける施設スタッフにとって、また常に医ケア児と生活する家族にとって様々な課題があると思う。それらの課題について「医療的ケア委員会」としてどのように取り組み、何をすべきなのか考えた1年でもあった。

専門部会と課題共有しながら引き続き取り組んでいきたい。